

学級活動指導案

府中市立上下南小学校
指導者 教諭 津田 典和

- 1 日 時 平成26年 6月27日（金）～7月11日（金）
- 2 学年・学級 第6学年1組（男子9人 女子6人 計15人）
- 3 題 材 「学級の問題をみんなの力で解決しよう」
内容（1）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
内容（2）ウ 望ましい人間関係の形成

4 題材について

(1) 児童の実態

第6学年の児童(15人)は、6年間同じ学級集団の中で生活している。昨年度、当該学年において、暴力行為の発生件数といじめの認知件数は0件である。しかし、学級内での立場や役割が固定化しており、授業中によく発言する児童や、話し合い活動で影響力をもつ児童が特定されている。その結果、学級で起こる諸問題の解決に向けた話し合い活動では、一部の児童の意見が優先されることが多く、合意形成がなされず、集団決定したことも、学級全員で実践できていないことがあり、自治的な学級集団が形成されていないと考える。

第6学年の児童を対象に6月に実施したアンケートの結果は次のとおりである。

項目	問	質問項目	肯定 (%)	否定 (%)	回答平均値	回答平均値
話す力・聞く力	4	わたしは、学級で話し合いをするとき、聞く人の反応を見ながら自分の考えを発表している。	40.0	60.0	2.13	2.63
	8	わたしは、学級で話し合いをするとき、理由をはっきりさせて自分の考えを発表している。	46.7	53.3	2.47	
	12	わたしは、学級で話し合いをするとき自分の考えが相手に伝わるように、発表している。	53.3	46.7	2.53	
	16	わたしは、学級で話し合いをするとき、誰の話でも相手の気持ちを考えて真剣に聞いている。	86.7	13.3	3.13	
	20	わたしは、学級で話し合いをするとき、互いの意見の違いを理解して聞いている。	73.3	26.7	2.87	
集団決定	1	わたしは、自分たちで問題を解決していくことが大切であると考えている。	100	0	3.60	2.91
	5	わたしは、互いの思いを理解して話し合いをしている。	66.7	33.3	2.80	
	9	わたしは、互いの意見のよさを比べながら話し合いをしている。	40.0	60.0	2.33	
	13	わたしは話し合いを通して、自分の考えを見直すことがある。	80.0	20.0	3.07	
	17	わたしは、学級で話し合いをするとき、自分もよく、学級の人にもよい解決方法を考えている。	66.7	33.3	2.73	
ルールの内在化	2	わたしは、人が嫌がることはしないようにしている。	100	0	3.40	3.08
	6	わたしは、何かをするとき人任せにしないで行動している。	86.7	13.3	3.00	
	10	わたしは、自分が言ったことに責任をもって行動している。	73.3	26.7	2.93	
	14	わたしは、学級のルールを守ることは大切であると考えている。	93.3	6.7	3.60	
	18	わたしは、学級のルールを守っていない人に声を掛けている。	53.3	46.7	2.47	
リレーションの形成	3	わたしは、学級の中で安心して自分の考えを発表している。	46.7	53.3	2.67	2.61
	7	わたしは、学級の人困っているとき声を掛けている。	80.0	20.0	2.93	
	11	わたしは、同じ班の人が何かをうまくできたとき、その人をほめている。	60.0	40.0	2.73	
	15	わたしは、学級の人たち一人一人のよいところを見つけている。	53.3	46.7	2.67	
	19	わたしは、学級の人たちから認められている。	20.0	80.0	2.07	

質問項目4, 8, 12の結果から、話す力が身に付いていない児童が半数近くいることが明らかになった。また、質問項目3, 15, 19の結果から、互いに尊重し合う人間関係が実感できていない児童が半数近くおり、互いのよさを認め合う人間関係を実感できていない児童は80%いることが明らかになった。

自治的な学級集団を育成するためには、話し合い活動を通して学級で起こる諸問題を、自分たちの力で解決する力が必要であり、児童の実態から児童一人一人が話す力を身に付け、積極的に発言し、集団決定したことを実践したり、互いのよさを認め合ったりする話し合い活動を充実させる必要がある。

ると考える。

(2) 題材設定の理由

本題材は、小学校学習指導要領解説特別活動編（平成 20 年 8 月 文部科学省）に示されている学級活動の内容の共通事項（1）「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」と（2）「ウ 望ましい人間関係の形成」の内容を扱う。「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」の主な指導内容は、児童が学級の生活の充実と向上に関する諸問題について話し合い、集団決定したことを協力して実践していくことと示されている。また、「ウ 望ましい人間関係の形成」の具体的な指導内容は、児童が互いのよさを発見したり、違いを認め合ったりすることと示されている。

本単元では、温かい雰囲気の中での民主的な話し合いにより、生活上の諸問題を解決することができる「クラス会議」の手法を生かした話し合い活動を展開していくこととした。「クラス会議」の手法について、赤坂真二(2014)※は、次のように述べている。

- ① 児童が輪になって座る。
- ② 発言者を尊重するために、発言者は、目印となるトーキングスティックを手にもつ。
- ③ 児童は、輪番に発言する。
- ④ コンプリメント（相手への賛辞や誉め言葉など）を交換する。
- ⑤ 解決策のアイデアを出し合い、互いの意見の長所に注目する。
- ⑥ 解決策について集団決定をする。

「クラス会議」の手法を話し合い活動に取り入れていくことで、児童一人一人がよりよい雰囲気の中で、話し合い活動に臨み、自分たちの力で、学級で起こる諸問題を解決していくことができるようになると思う。

また、国立教育政策研究所は、「生徒指導リーフ Leaf.6 特別活動と生徒指導」（平成24年6月国立教育政策研究所）において、特別活動の指導で重視したい指導・支援を、次のように示している。

- ① 児童に「自己存在感」を与える。
- ② 教師と児童の信頼関係及び児童相互の「共感的な人間関係」を育てる。
- ③ 「自己決定」の場や機会をより多く用意し、児童が自己実現の喜びを味わうことができるようにする。

児童の実態を踏まえ、話す力をつけるために、自分の考えを分かりやすく伝える「話し方」について理解する活動を取り入れていく。また、相手の考えを尊重し、よさを認め合うために、物事には、いろいろな見方や考え方があることを理解する活動を取り入れていく。そして、これらの活動で学んだことを生かし、全ての児童に発言の機会を与えると自己存在感を与える手立てや、互いの意見をしっかりと聴き、よさを認め合うといった共感的な人間関係を生かす手立てを充実させると共に、学級の話合いで集団決定したことを児童一人一人が責任をもって実行するといった自己決定の場を与える手立てを行うなどして、話し合い活動をより一層充実させていく。このことにより、自分たちの学級で起こる諸問題を自分たちの力で解決していくことができる自治的な学級集団の育成につながると考え、本題材を設定した。

※赤坂真二（2014）『赤坂版「クラス会議」完全マニュアル 人とつながって生きる子どもを育てる』ほんの森出版

5 本題材のねらい

学級の生活上の問題に対して、互いの意見を尊重しながら、自分たちの力で問題解決していく体験を通して、自治的な学級集団を育成する。

6 単元の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や自己の生活の充実と向上に関する諸問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

7 指導と評価の計画（全4時間）

時	日時	学習内容	評 価				
			関	思	知	評価規準（・）	評価方法
事前活動	6月6日 (金)	アンケートを実施し、学級の問題を解決するために話し合い活動が必要なことを理解する。			◎	・学級の問題を解決していくためには、話し合い活動が必要であることを理解している。	行動観察
第1時	6月27日 (金)	自分の考えを学級のみんなに分かりやすく伝えるための話し方を理解する。			◎	・自分の考えを分かりやすく伝えるための「話し方」について理解している。	行動観察 振返りシート
			○			・自分の考えを分かりやすく伝えようとしている。	
第2時	6月30日 (月)	物事には多様な見方・考え方や肯定的な側面と否定的な側面があることを知り、積極的に肯定的な側面に注目していくことを理解する。			◎	・進んで物事のよいところを見ることの大切さを理解している。	行動観察 ワークシート 振返りシート
			○			・どんな物にも肯定的な面と否定的な面があることに気付き、生活に生かそうとしている。	
帰りの会	6月30日 (月)	次時に行う話し合い活動の流れを理解し、次時の活動に関心をもち、	◎			・話し合い活動の流れと進め方を知り、進んで取り組もうとしている。	行動観察
放課後	6月30日 (月)	話し合い活動①に向けて、司会者・記録係と話し合い活動の進め方について確認し、リハーサルを行う。			◎	・話し合い活動の効率的な進め方について、理解している。	行動観察

第3時	7月4日 (金)	話し合い活動① 男女が協力して取り組む体育館で行うスポーツレクの内容について考え、互いの意見のよさを生かし、集団決定する。		◎	・よりよい学級にするために、互いの意見のよさを生かしながら、話し合いをしている。	行動観察 振り返りシート
			○		・学級の問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に話し合いをしている。	
帰りの会	7月9日 (水)	活動を通して、自分自身の行動について振り返りと自己評価を行う。		◎	・学級で話し合っただけを決めたことを協力して実践している。	自己評価
放課後	7月9日 (水)	話し合い活動②に向けて、司会者・記録係と話し合い活動の進め方について確認し、リハーサルを行う。		◎	・話し合い活動の効率的な進め方について、理解している。	行動観察
第4時	7月11日 (金)	話し合い活動② 廊下を走らないようにするために、6年生から全校児童へ提案する取組について考え、互いの意見のよさを生かし、集団決定する。		◎	・よりよい学級にするために、互いの意見のよさを生かしながら、話し合いをしている。	行動観察 振り返りシート
			○		・学級の問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に話し合いをしている。	
帰りの会	7月14日 (月)	活動を通して、自分自身の行動について振り返りと自己評価を行う。		◎	・学級で話し合っただけを決めたことを協力して実践している。	自己評価
事後活動	7月14日 (月)	活動を通して、自分自身の行動について振り返りと自己評価を行う。		◎	・学級で話し合っただけを決めたことを協力して実践している。	自己評価

8 本時の展開

- (1) 第1時 「分かりやすく伝えるための『話し方』について理解しよう」学級活動 (2) ウ
- ① 本時の目標 自分の考えを分かりやすく伝えるための「話し方」について知り、進んで実践しようとする態度を育てる。
- ② 準備物 トーキングスティック、場面絵、振り返りシート①

③ 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への支援の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 事前学習の内容を確認する。(1分) 2 学級における「話す力」に関する実態を知る。(2分) 3 本時のめあてを確認する。(1分)	◇ 話合いの必要性について事前学習で確認したことをもう一度押さえる。 ◇ 「話す力」に関する、事前アンケートの結果を提示する。	
自分の考えを相手に分かりやすく伝えるための「話し方」について考えよう。		
4 輪になって座る。(2分) 5 コンプリメント(相手への誉め言葉など)を交換する。(5分) 6 自分の考えを分かりやすく伝えるための「話し方」について考える。(10分) 7 自分の考えを分かりやすく伝えるための「話し方」を実践する。(11分)	◇ 事前に決めていたペアが隣になるように座る。 ◇ トーキングスティックを一人一人が持つことの意味を児童に伝える。 【自己存在感を与える】 ◇ 事前に決めた相手のよいところや頑張っているところを紹介させる。 【共感的な人間関係を育成する】 ◇ 全体に聞こえる声で発表させる。 ◇ 自分のよいところを紹介されて、どんな気分になったかを児童に確認する。 ◇ 指導者が児童役になり、話合い活動で発言している場面をロールプレイする。 ◇ 話合いをする際の議題は、「7月に行う1年生との交流会で何をするかについて」と設定して行う。 ◇ 指導者の発言する姿に注目してロールプレイを見るように指示する。 ◇ ロールプレイを見て、話し方のよくない点について、気付いたことを発表させる。 ◆ 話し方のよくない点については、普段の生活の取組と関連付けて考えさせる。 ◇ 自分の考えを分かりやすく伝えるための話し方について考えたことを一人ずつ発表させる。 【自己決定の場を与える・自己存在感を与える】 ◇ 児童から出された意見は、板書して整理する。 ◇ 具体的な場面を設定し、相手に分かりやすい話し方を実践させる。 【自己決定の場を与える】 【自己存在感を与える】 ◇ 一人一人の児童の話し方でよかった点を伝え合わせる。 【共感的な人間関係を育成する】	・自分の考えを分かりやすく伝えるための「話し方」について理解している。〔知識・理解〕(行動観察) ・自分の考えを分かりやすく伝えようとしてい

<p>8 相手を大切に作る聴き方について確認する。 (5分)</p>	<p>◇相手のことを大切に作る聴き方について考えさせ、板書して整理する。</p>	<p>る。〔関心・意欲・態度〕(行動観察)</p>
<p>9 学習を振り返り、まとめをする。(8分) (1) 振り返りシートに記入する。 (2) 全体に発表する。</p>	<p>◇ 本時の活動を振り返り、自分自身が次回の活動に生かしていくことを考えさせる。【自己決定の場を与える】</p> <p>◇ 本時の活動でよかった点について具体的に評価する。【自己存在感を与える】</p> <p>◇ 次時の学習について伝え、見通しをもたせる。</p>	

- (2) 第2時 「多様な見方・考え方があることを理解しよう」学級活動(2)ウ
- ① 本時の目標 物事には、いろいろな見方があることを知り、よいところを進んで見付けていくとする態度を育てる。
- ② 準備物 トーキングスティック、4種類の動物のイラスト、ワークシート①、振り返りシート②、バインダー
- ③ 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への支援の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 輪になって座る。(1分)</p> <p>2 コンプリメント(相手への誉め言葉など)を交換する。(4分)</p> <p>3 前時に決めた、相手を傷つけない主張の仕方や相手のことを大切に作る聴き方について確認する。(1分)</p>	<p>◇ 事前に決めていたペアが隣になるように座る。</p> <p>◇ 事前に伝えておいた相手のよいところや頑張っているところを紹介させる。【共感的な人間関係を育成する】</p> <p>◇ 全体に聞こえる声で発表させる。</p> <p>◇ 前時に学習した内容は、児童に分かりやすいように掲示しておく。</p>	
<p>4 本時のめあてを確認する。(1分)</p>	<p>物事には、いろいろな見方や考え方があることを知ろう。</p>	
<p>5 4種類の動物のアクティビティーを行う。 ・ワシ・ライオン・カメ ・クジラ (20分)</p>	<p>◇ 4種類の動物の絵を見せて、もし1日だけなれるとしたらどの動物になりたいかを考えさせる。「なぜ、その動物を選んだのか、なぜ他の動物を選ばなかったのか」をワークシートに書かせた後、自分の考えを発表させる。【自己決定の場を与える・自己存在感を与える】</p> <p>◆ 選ばなかった理由については、1種類の動物にしぼって記入するように指示をする。</p> <p>◇ 動物ごとに児童が発表した内容を整理して板書する。</p> <p>◇ 肯定的な意見は赤色、否定的な意見は、黄色</p>	

<p>6 よいところに注目する大切さについて知る。 (10分)</p>	<p>のチョークで板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 動物ごとに整理した板書を見て、同じ動物でも肯定的な見方や否定的な見方があることに気付かせる。 ◇ なりたい動物として選んだ児童の少なかった動物も取り上げ、それぞれによさがあることに気付かせる。 ◇ 肯定的な面と否定的な面のどちらに注目した方が相手をよい気持ちになるか考えさせ、話し合い活動でも意見のよいところに注目していくことの大切さについて気付かせる。【共感的な人間関係を育成する】 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで物事のよいところを見ることが大切さを理解している。[知識・理解] (行動観察・振り返りシート)
<p>7 学習を振り返り、まとめをする。(8分) (1) 振り返りシートに記入する。 (2) 全体に発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 本時の活動を振り返り、自分自身が次の活動に生かしていくことを書かせる。【自己決定の場を与える】 ◇ 授業の感想について交流させる。 ◇ 本時の話し合いでよかった点について具体的に評価する。【自己存在感を与える】 ◇ 次の学習について伝え、見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな物にも肯定的な面と否定的な面があることに気付き、生活に生かそうとしている。[関心・意欲・態度] (行動観察)

- (3) 第3時 「よりよい学級になるための解決策を話し合おう。」学級活動(1)ア
- ① 本時の目標 男女が協力して取り組むことができる体育館で行うスポーツレクの内容について考え、互いの意見のよさを生かした集団決定を行うことができる。
- ② 準備物 トーキングスティック、ワークシート②、振り返りシート③、バインダー、話し合い活動の流れ(資料①)、司会アドバイスカード(資料②)、納得シート
- ③ 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への支援の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 輪になって座る。 (1分)	◇ 静かに、素早く移動するように指示をする。	
2 前時の振り返りを行う。 (1分)	◇ 前時までには決まった内容や約束は、児童の見える場所に掲示しておく。	
3 話し合い活動の進め方を確認する。(2分)	◇ 話し合い活動が円滑に進むように、事前学習で確認した「話し合い活動の流れ」(資料①)を掲示しておく。	
4 話し合い活動をする。 (35分) (1) 役割の紹介 (2) 議題を確認する。	◇ 司会アドバイスカードを参考にして、自信をもって進行ができるようにさせる。 【自己存在感を与える】 (資料②)	
<p>議題 「男女が協力して取り組むことができる体育館で行うスポーツレクの内容を考えよう。」</p>		

<p>(3) 話し合いの準備をする。</p>	<p>◇ 事前に短冊に記入した議題に対する自分の考えを黒板に貼らせる。【自己存在感を与える】</p>	
<p>(4) 集団決定する。</p>	<p>◇ 出された意見を比べやすくするために、同じ内容の意見は、短冊で移動できるようにさせる。</p>	
<p>(5) 決まったことを確認する。</p>	<p>◇ 出された意見を整理し、それぞれのよさを考えさせる。</p> <p>◇ よりよい内容を選ぶ際、「もし、その内容を実行したらどうなるか」や「実行することで、こんなよいことがあるそうだ」という考える視点を与えて、自分の意見を考えさせる。【自己決定の場を与える】</p> <p>◇ 全員に発言する機会を与え、一人一人の意見を大切に聴くように指示をする。【自己存在感を与える・共感的な人間関係の育成】</p> <p>◇ 掲示している納得シートをもとに、学級のみみんなを納得させる意見を考えさせる。</p> <p>＜納得シート＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 意見を比べる。 ② 少し譲って、相手の意見を取り入れる。 ③ 意見のよいところを合わせる。 ④ 条件付きで賛成する。 ⑤ 意見のよいところを取り出し、新しい考えを生み出す。 <p>◇ 児童から出された意見を基に、合意形成を図る。</p>	<p>・学級の問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に話し合いをしている。 〔関心・意欲・態度〕（行動観察）</p> <p>・よりよい学級にするために、互いの意見のよさを生かしながら、話し合いをしている。〔知識・理解〕（行動観察）</p>
<p>(6) 先生の話聞く。</p>	<p>◇ 学級で決まったことを基に、自分はどうのように実践していくかを考えさせる。【自己決定の場を与える】</p>	
<p>(6) 先生の話聞く。</p>	<p>◇ 本時の話し合いでよかった点について具体的に評価する。【自己存在感を与える】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>次のような点について評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に「内容を実行したらどうなるか」や「どんなよいところがあるのか」を考えて自分の考えを話すことができた点。 ・互いの意見のよさに気付いて、取り入れていた点。 ・自分の考えを少し譲って、友達の意見を取り入れることができた点。 </div>	
<p>6 学習を振り返り、まとめをする。(6分) 振り返りシートに記入する。 全体に発表する。</p>	<p>◇ 振り返りの観点を絞り、自己評価、相互評価することで、自分や友達のよさを認められるようにする。【共感的な人間関係の育成】</p> <p>◇ 集団決定した方法を全員で取り組むことを確</p>	

	認する。 ◇ 次時の学習について伝え、見通しをもたせる。	
--	---------------------------------	--

(4) 第4時 「よりよい学級になるための解決策を話し合おう。」学級活動(1)ア
① 本時の目標 廊下を走ってけがをしないようにするために、6年生から全校児童へ提案する取組について考え、よりよい取組を集団決定することができる。

② 準備物 トーキングスティック、ワークシート③、振返りシート④、前時までに決めた内容の掲示物、バインダー、話し合い活動の流れ(資料①) 司会アドバイスカード(資料②)

③ 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への支援の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 輪になって座る。 (1分)	◇ 静かに、素早く移動するように指示をする。	
2 前時の振返りを行う。 (1分)	◇ 前時までに決まった内容や約束は、児童の見える場所に掲示しておく。	
3 話し合い活動の進め方を確認する。(2分)	◇ 話し合い活動が円滑に進むように、事前学習で確認した「話し合い活動の流れ」(資料①)を掲示しておく。	
4 話し合い活動をする。 (35分)		
(1) 役割の紹介	◇ 司会アドバイスカードを参考にして、自信をもって進行ができるようにさせる。 【自己存在感を与える】 (資料②)	
(2) 議題を確認する。		
議題 「廊下を走ってけがをしないようにするために、6年生から全校児童へ提案する取組を考えよう。」		
(3) 話し合いの準備をする。	◇ 事前に短冊に記入した議題に対する自分の考えを黒板に貼らせる。 【自己存在感を与える】 ◇ 出された意見を比べやすくするために、同じ内容の意見は、短冊で移動できるようにさせる。	
(4) 集団決定する。	◇ 出された意見を整理し、それぞれのよさを考えさせる。 ◇ よりよい内容を選ぶ際、「もし、その内容を実行したらどうなるか」や「実行することで、こんなよいことがあるそうだ」という考える視点を与えて、自分の意見を考えさせる。 【自己決定の場を与える】 ◇ 全員に発言する機会を与え、一人一人の意見を大切に聴くように指示をする。 【自己存在感を与える・共感的な人間関係の育成】	・学級の問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に話し合いをしている。 〔関心・意欲・態度〕(行動観察) ・よりよい学級にするために、

<p>(5) 決まったことを確認する。</p> <p>(6) 先生の話聞く。</p> <p>6 学習を振り返り、まとめをする。(6分)</p> <p>(1) 振り返りシートに記入する。</p> <p>(2) 全体に発表する。</p>	<p>◇ 掲示している納得シートをもとに、学級のみんなを納得させる意見を考えさせる。</p> <p><納得シート></p> <p>① 意見を比べる。</p> <p>② 少し譲って、相手の意見を取り入れる。</p> <p>③ 意見のよいところを合わせる。</p> <p>④ 条件付きで賛成する。</p> <p>⑤ 意見のよいところを取り出し、新しい考えを生み出す。</p> <p>◇ 児童から出された意見を基に、合意形成を図る。</p> <p>◇ 学級で決まったことを基に、自分はどのように実践していくかを考えさせる。【自己決定の場を与える】</p> <p>◇ 本時の話合いでよかった点について具体的に評価する。【自己存在感を与える】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>次のような点について評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に「内容を実行したらどうなるか」や「どんなよいところがあるのか」を考えて自分の考えを話すことができた点。 ・互いの意見のよさに気付いて、取り入れていた点。 ・自分の考えを少し譲って、友達の意見を取り入れることができた点。 </div> <p>◇ 振り返りの観点を絞り、自己評価、相互評価することで、自分や友達のよさを認められるようにする。【共感的な人間関係の育成】</p> <p>◇ 集団決定した方法を全員で取り組むことを確認する。</p> <p>◇ 4時間の授業全体の様子について肯定的な評価を行い、自分たちの力で問題を解決していくためには、一人一人の力が必要であることを伝える。【自己存在感を与える】</p>	<p>互いの意見のよさを生かしながら、話し合いをしている。〔知識・理解〕(行動観察)</p>
--	--	--